

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年3月30日

事業所名 NPO法人はびりす ANNEX 保護者等数(児童数) 57 回収数 44 割合 72 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	43					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	43			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41	1	1	1	・小さい子ども用のトイレの工夫がほしい。 ・水道が出にくくなるという。	子ども用の便座を購入したり工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	2		1		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	44	3	1	2		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	42			2	ガイドラインを知らない。	ガイドラインを閲覧できるように配置していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	43	1				
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	40	2		2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	3	6	19		
保護者 への 説明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	1				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	42			2	ガイドラインを知らない。	ガイドラインを閲覧できるように配置していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	37	2	1	4		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	42	2		1	先生による。	担当と話す時間が持てるよう、関わる人員を増やし、面談の機会を増やしていけるようにしていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43	2			先生による。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	4	8	24	他の保護者と関わる機会があると嬉しい。	ワークショップやイベントも定期的に開催したり、療育中に保護者合同で子どもの発達についての相談会などを実施し、他のご家族とも関われる機会を増やしていきます。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	41			3			

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40			3		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	4	2	11		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	35	3	1	4		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	2	3	15	HPなどで「やりました」の報告があると安心します。	SNSや掲示などで報告できるように整備します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	4	4	24		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	43				毎回楽しみにしています。	ありがとうございます。これからもお子さんが楽しみに通っていただけるよう工夫をしてきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	43				親も楽しみにしています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和3年3月30日

事業所名 NPO法人はびりすANNEX 保護者等数(児童数) 7 回収数 7 割合 100 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7					
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	7					
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	7					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		4	1		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	1	0	0	先生による	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				保護者に寄り添いつつ、子の課題を見極め適切に運動してもらえて嬉しい。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7				不安なことがあっても希望が持てる助言をしていただけるので励みになる。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	2	2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			2		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7				情報共有はできていると思う。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5		1	1		
	14	個人情報に十分注意しているか	7					
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6		1			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4		1	2		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	7				毎週楽しみで仕方ない。	
	18	事業所の支援に満足しているか	7					

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年3月30日

事業所名 NPO法人はびりす ANNEX

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		同じ時間お子さんにもよるが、もう一部屋あるといい。
	2	職員の配置数は適切である	4		人員基準を超えた療法士、保育士・児童指導員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2		担当者だけでなく、他の職員とも目標設定や振り返りができる時間を設けていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	4		実施回数を増やし、質の改善につとめる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		定期的に研修を開催していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	定期的に検査など専門的な視点からこどもやご家族の状態を把握し、計画に反映しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	お子さんに応じた必要な検査を随時行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	個別支援のため、毎日お子さんの状態や状況に応じて工夫しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1対1の個別支援であるが、お子さんのペアによっては合同に行ったりして、こども同士や保護者同士の相互関係の構築へも取り組んでいます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		細かく打ち合わせできない時も多いため、支援内容を打ち合わせる時間をつくり内容を深めています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		他の職員誰が見てもわかる記録表を作成し実施していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	客観的に数値化できるようにし、定期的にモニタリングや目標に対しての進捗状況を把握しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	常に担当が参加しています。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	4		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	園の保育士さんがいつでもきて直接相談できるよう整備しています。	保育園や学校にもお子さんの様子を見に行けるよう整備していきたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	必要に応じてサマリーを作成し連携を図っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5	自ら研修や講演会を開催し、地域療育の向上に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	ワークショップや自費事業をはじめ関わる機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	4	保護者にも一緒に療育に参加していただいている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	書籍や体操メニューを作成し、自宅での習慣化を実施	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	毎回直接お会いし、随時行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	保護者会は開催していないが、同時刻の保護者同士の連携が深まっている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	責任者が即座に対応し迅速に対応できるよう配置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		
	35	個人情報に十分注意している	2	3	定期的に研修会を行い取り扱いに注意を払っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	カフェをオープンし、地域の方誰でも利用できる場所として展開している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		マニュアルは整備しているが保護者一人一人に周知していない。わかりやすくまとめて掲示していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	敵機的に職員研修を開催している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	身体拘束を行うことがない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	食事を提供していない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		閲覧できていない職員もいるため、閲覧できる仕組みをつくっていきます。